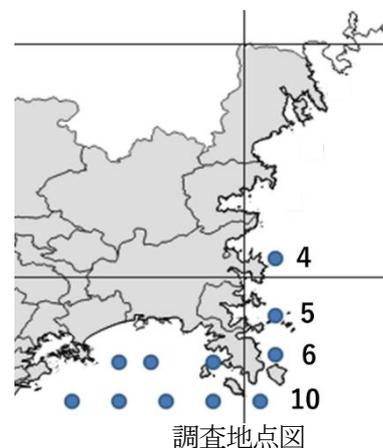


令和6年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.2)

令和6年5月13日
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和6年5月9日
- 2 調査地点 右図の4定点(St. 4, 5, 6及び10)
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
 - 1) 水温: 表層で15.3~16.1℃の範囲にありました。
 - 2) 貝毒原因プランクトン出現数
 - ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) が0~30細胞/L 確認されました。
 - ・下痢性貝毒原因プランクトン, *Dinophysis fortii*は確認されず、*D. acuminata*が0~10細胞/L 確認されました。



調査結果表(4定点)

St.	日時 水深 (m)	透明度 (m)	表面水温 (°C)	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)							
				<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	
				5月9日	4月5日	5月9日	4月5日	5月9日	4月5日	5月9日	備考
4	11:21 (82)	13.0	16.0	0	0	0	0	10	0	0	
5	10:38 (33)	10.0	16.1	30	0	0	0	10	0	0	
6	9:46 (69)	9.0	15.3	0	0	0	0	0	0	0	
10	8:51 (69)	12.0	15.3	0	10	0	0	0	10	0	

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水